

家庭用燃料電池事業体制の見直しについて

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、家庭用燃料電池(エネファーム)の事業体制を見直し、2015年3月末をもって自社による開発・生産を終了し、他社品の仕入販売に移行することとしましたので、お知らせいたします。

家庭用燃料電池は、LPガスや都市ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて発電するとともに、発電の際に発生する熱を利用し給湯も同時に行う高効率の家庭用コージェネレーションシステムです。近年、お客様の節電等のニーズの高まりを背景に、環境に優しい分散型エネルギーシステムとして普及が進んできております。

当社は、2009年にPEFC型^{※1}を、2011年にはSOFC型^{※2}を発売し、現在は自社開発・生産するSOFC型と仕入品であるPEFC型を販売しております。今般、事業効率化のため、来年度以降は、SOFC型の自社による開発・生産を取りやめ、仕入販売体制に一本化することといたしました。

なお、SOFC型家庭用燃料電池システムのメンテナンス体制は従来どおり維持し、これまで設置いただいたお客様に対するアフターサービスは、引き続き実施いたします。

今後とも当社は、家庭用燃料電池事業に加え、太陽光発電などの新エネルギーシステムの提供や、お客様のご家庭のエネルギーの最適化をご提案するENEOSエネルギー診断サービス「Dr. おうちのエネルギー」を展開するなど、自立・分散型エネルギー社会の実現に貢献してまいります。

※1 PEFC型:固体高分子形燃料電池(Polymer Electrolyte Fuel Cell)

※2 SOFC型:固体酸化物形燃料電池(Solid Oxide Fuel Cell)

以上

お客様お問い合わせ窓口: エネファーム専用ダイヤル 0120-56-8786(コール エネファーム)

営業時間 9:00~17:00 (土曜、日曜、祝日も営業)